

水俣病関係の 補償金出せぬ

新日窒千原専務語る

新日窒千原専務は十一日水俣工場で記者会見を行ない、水俣市漁協が同社に対し要求している水俣病関係被害補償金二億八千三百十五万一千円について「補償金を出す考えはない」とつぎのように語った。

水俣漁協は二億八千万円という多額の補償要求を行なっているが、昨年の提出資料とそのつと提出される基礎資料がことなり信用できない。すでに支払った補償金（昨年夏）や沿岸漁業の全国的な不振その他を考えれば補償金を出す余地はない。それよりもわれわれは困っている漁民の永久的な生活安定を考えて工場に三千人から五十人を正規従業員として採用するほか、雇用運輸などにも二十人くらいどの採用を頼んでいる。これら漁民の就労によって昨年末工場が不知火海沿岸漁民などに支払った補償金とのバランスも保てると思う。